

溝小だよ

<https://mizonobe-kahoku.edumap.jp/>

河北町立溝延小学校

学校通信 No.352

2022.12.28

学校教育目標：ふるさとだいすき かしくく つよく やさしく

「自分の言葉で」表現すること

第5回授業研究会 4学年 算数科「垂直・平行と四角形」

身近にある四角形について、様々な見方や感覚を豊かにしてそれぞれの図形の良さに気づいたり、生活に生かしたりしていこうという学習です。学習したことをもとに垂直や平行の関係を見つけたり、対角線の長さや交わり方について丁寧に考えたりする姿がたくさん見られました。子ども達が友達と測り方を確かめたり、答えの出し方を交流したりすることの大切さを改めて感じました。考え方や出した答えが違う時こそ、**学びのチャンス**。「どうしてそれが長方形なの。」「それは、この〇〇と△△の長さが等しくなって、～と考えたからです。」「ああ、そういうことか。」「すぐにはわからなくとも、お互いが**自分の言葉**で伝え、やりとりする中で「腑に落ちる」「納得していく」ことが楽しい学びであり、学びが深まることだと4年生の子ども達が示してくれました。



サポートルーム 自立活動「イライラしても大丈夫」

人は誰でもイライラしたり、意欲が持続しなかったりすることがあります。その解決法の一つが**自分の気持ちを言葉で表す**ことと考え、学習がスタートしました。土台になるのは、**安心**。運動会や相撲大会、小さい時の職員室での一コマ等、掲示した写真を見ながら、その時の気持ちを嬉しそうに思い出していました。子ども達は安心して言葉を選び、表現しました。



子どもがたくさんの言葉の中から、その時の気持ちにより近い言葉を見つけたり、自分の言葉を増やしたりすることは容易なことではありません。子ども達のために、私たちは普段から言葉を増やす手助けがもっとできるようになりたいと思いました。その鍵を握るのは、**対話**です。**見えない心の中の言葉に耳を澄ませて、よく聞いて、上手にたずねる…見えないからこそ難しくもあり、見えた時の喜びも大きいのだと思います。**

通学路の雪掃き ありがとうございます

大雪の日、登校してきた子ども達から、「歩道の雪はきれいに掃かれていました。」「雪掃きされていたので、大丈夫です。」という元気な返事が返ってきました。歩くのがさぞ大変だったろうと心配しましたが、保護者の方、地域の方が子ども達のために朝早くから雪掃きをしてくださったのだと想像して、本当にありがとうございました。雪国にくらす温かい人たちに囲まれて、子ども達はやさしくたくましく育っているのだとつくづく感じます。

本校ホームページへ
こちらからどうぞ



(校長 小林 聡)